

## シラバス

ナンバリングコード/ 科目番号	HE30021	
科目名	臨床薬理学	
科目名 (英語)	Clinical Pharmacology	
授業形態	講義・演習	
標準履修年次	3年	
実施学期・曜時限等	春A 月3 春B 月3	
使用教室	4B115	
単位数	1	
担当教員名	大林典彦 (健康医科学イノベーション棟 304号室、TEL: 3287、 オフィスアワー：随時) 船越祐司 (健康医科学イノベーション棟 304号室、TEL: 3115、 オフィスアワー：随時)	
備考	実務経験教員：大林典彦	
使用言語 (☑してください)	☑日本語 ・ □英語 ・ □バイリンガル	
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント (TA)	必要に応じて、TA が講義の補助を行う	
オフィスアワー等	オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡をしてから訪問すること	
学位プログラム・コンピテン スとの関係	汎用	なし
	医療	2.人間の健康と疾病の理解
	国際	2.人間の健康と疾病の理解
授業の到達目標 (学修成果)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床で実際に用いられる薬物について、それらの作用機序を説明できる。</li> <li>2. 薬物の特性や副作用、有害作用、有効性を説明できる。</li> <li>3. 薬物治療の概念を通して主要な疾患の病態生理を理解できる。</li> </ol>	
他の授業科目との関連	臨床病態学、凝固・線溶学、細胞システム学、人体機能学	
履修条件	なし	
授業概要	講義は配布資料・教科書を用いて進める。講義中に理解できなかった箇所は直ちに復習し、担当教員に積極的に質問することで、理解の定着を心がけること。 講義内容についての理解度を確認するために、講義中に小テストを行うことがある。	
キーワード	シグナル伝達、ホルモン、細胞骨格、薬物動態	

授業計画	<p>薬剤師業務に携わった経験を持つ教員が、臨床で実際に用いられる薬物の作用機序について概説する。</p> <p>4/15 大林 典彦 オリエンテーション</p> <p>4/22 大林 典彦 生理活性物質とその受容体・シグナル伝達</p> <p>5/9 船越 祐司 ホルモンと代謝性疾患治療薬</p> <p>5/13 船越 祐司 薬の作用と薬物動態 (Pharmacokinetics)</p> <p>5/20 大林 典彦 自律神経系の薬理</p> <p>5/27 大林 典彦 中枢神経系の薬理</p> <p>6/3 大林 典彦 血液・循環器系の薬理</p> <p>6/10 大林 典彦 泌尿・生殖系の薬理</p> <p>6/17 船越 祐司 細胞骨格と骨格筋</p> <p>6/24 船越 祐司 平滑筋と心筋の薬理</p>
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講義 (80%)、演習 (20%)
単位取得要件	6割以上の出席 期末試験評語C以上
成績評価方法	期末試験の点数に基づいて評語 (A+~C) で評価する。
教材・参考文献・配付資料等	<p>プリント：manaba で配布する。 <a href="https://manaba.tsukuba.ac.jp/">https://manaba.tsukuba.ac.jp/</a></p> <p>薬がみえる vol.1 (医療情報科学研究所)</p> <p>カッティング薬理学 (丸善(株)出版事業部)</p>
その他 (受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	自発的に学習 (予習と復習) を行い、講義を有効に受講することを期待する。